



2019年8月14日  
セントラル野球連盟  
パシフィック野球連盟  
スカパーJSAT株式会社

## 7月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の7月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

### ～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

**Y. ソラーテ**  
(阪神タイガース)  
初受賞

7月30日(火)阪神甲子園球場で行われた対中日ドラゴンズ15回戦、5対6の1点ビハインドで迎えた9回裏無死。同点のランナーを1塁に置いて、来日4試合目の新外国人ソラーテ選手が、この試合2本目となるレフトポール直撃の逆転サヨナラ2点本塁打を放ち、4時間を超える両チーム計30安打の乱打戦に終止符を打った。

阪神は、1対2と1点ビハインドで迎えた5回裏、この日の主役であるソラーテ選手が球団通算8,000号となる来日第2号の2点本塁打を放ち逆転に成功。その後も点を取り合うシーソーゲームの展開の中、中日リードの5対6で9回裏を迎える。先頭の1番近本選手がこの試合4本目のヒットでチャンスメイクすると、ソラーテ選手が打席に立ち、中日・岡田投手の初球を豪快に振り抜くと打球はレフトポールを直撃。この日2本の本塁打を含む4安打4打点で大活躍の新助っ人は、終始本拠地・甲子園を大いに沸かせ、阪神ファンの心をわしづかみにした。

阪神からの受賞は、5月度の高山選手、6月度の原口選手に続き、3カ月連続。同一球団の3カ月連続受賞は2013年9月～2014年5月の広島東洋に並ぶ最長記録。同一シーズンでは初となった。

### ～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

**中村 剛也**  
(埼玉西武ライオンズ)  
2度目

中村選手は、7月19日(金)メットライフドームで行われた対オリックス・バファローズ13回戦、4対4で迎えた延長11回裏1死走者なしの場面で打席に立つと、放った打球はレフトスタンドへ飛び込んだ。チームを今季4度目のサヨナラ勝利へ導いた劇的な一打は、自身通算400号となるメモリアル本塁打となった。

この試合、埼玉西武はオリックス先発の山本投手に対し、7回まで相手の失策による1点しか奪えず苦しい展開。劣勢の1対4で迎えた9回裏、クローザーのディクソン投手から安打と四球でチャンスを作ると、金子侑選手が値千金の3点本塁打を放ち、土壇場で同点に追いつき試合はこのまま延長戦へ突入する。

迎えた延長11回裏、この回からオリックスのマウンドには増井投手。1死となり、打席にはこの日5打席目の中村選手。カウント2-1からの4球目を打ち返すと、打球は西武ファンで埋まるレフトスタンドへ飛び込む劇的なサヨナラ本塁打となり、同時にプロ野球20人目となる通算400号を達成した。個人通算400号本塁打をサヨナラで達成するのはプロ野球史上初。スカパー！サヨナラ賞は2015年7月度以来自身2度目の受賞となった。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。





Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



## (参考)過去の受賞選手

### 【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパパー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B.レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B.レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B.レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (ヤクルト)	J. アマダー (楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島)	A.デスパイネ (ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
5月度	山下 幸輝 (DeNA)	清田 育宏 (ロッテ)
6月度	山田 哲人 (ヤクルト)	上林 誠知 (ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島)	山下 斐紹 (楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島)	Y.グラシアル (ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (ヤクルト)	中田 翔 (日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)
7月度		
8月度		
9、10月度		

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
2018年度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)

